



平成 25 年 3 月 5 日
国際協力機構（JICA）
カンボジア事務所

「企業診断」で中小企業の育成

カンボジアで支援プロジェクト開始

カンボジアで、日本の「企業診断コンサルティング」の手法を取り入れた中小・零細企業の育成支援が始まります。3月4日、カンボジア政府・鉱工業エネルギー省（MIME）とJICAの間で、「中小企業支援体制の戦略的強化プロジェクト」の合意文書が正式に交わされました（写真）。事業期間は2013年からの2年間で、6月には日本からJICAの専門家が同省に派遣され、事業が始動する予定です。

カンボジアでは、従業員10人以下の零細企業数が、登録企業約50万社のうち49万社（98%）を占めます（2011年）。国家の産業戦略としても、中小企業の育成は、海外直接投資の誘致と並ぶ最重要課題と位置づけられ、経済発展と雇用創出を担う中心的な役割を期待されています。

そこで「中小企業支援体制の戦略的強化プロジェクト」では、以下の3点を中心に、MIMEの中小企業支援能力を強化します。

- ① MIMEによる中小企業政策策定を支援
- ② 政策実施のために企業診断コンサルティング手法を開発
- ③ 企業診断コンサルティングのための研修プログラムを確立

このプロジェクトのユニークな点は、カンボジアの中小企業のニーズに合った内容の「企業診断コンサルティング」手法を開発することです。以前実施されたプロジェクトを通じ、MIMEは「5S／カイゼン」や食品安全に関するノウハウを取得しています。今回は、これらを発展させる形で、企業診断の手法を確立します。

また、カンボジアの中小企業は、企業診断に欠かせない財務諸表を持っていないところがほとんどです。こうした企業でも客観的に自社の経営状況を把握できるようなベンチマークを開発し、活用します。

中小企業は、カンボジアの経済発展の原動力となる重要なセクターであることから、今後のプロジェクトの成果が期待されます。



「中小企業支援体制の戦略的強化プロジェクト」の合意文書締結式で握手するカンボジア鉱工業エネルギー省のポク・ソバンリット長官（右）と、JICA カンボジア事務所長の井崎宏=3月4日、プノンペンで

<プレスリリース問い合わせ先>

JICA カンボジア事務所

井手直子 (Ide.Naoko@jica.go.jp)

Tel: +855-(0)-23-211-673

Fax: +855-(0)-23-211-67